

、闇に能なくして朱り出した船と異ならない誤る。また一歩、人類の経験が連続不断的ものである以上、現美の閉争から遊離した理論を得る筈はない。猶ゆる「左翼小児病者」の行動が「理論」を極度に暴露するに拘らず常に彼が誤謬である理由は、彼等が現美から遊離して居るからではない。

それと反対に、謂ゆる「現美主義者」等は「左翼小児病者」の「理論」の上に失敗する様を見て、理論無用論を主張する。然し彼等は、舵なき船の船頭が舵なきを誇るに類して居る。彼等の誤謬と失敗は、彼等が唯小左翼小児病者に敗つたものでない。何故？若し彼等の「現美」なるものが全階級の現美であり全階級開争の歴史的事実であるならば、決して間違は起り得ない。だが、どうもはななくして、僅かに彼等個人の小きな文の中、現美をあり、声のすいかな天井を覗いた現美であるが故に、ここに誤謬を生ずるのである。

かゝる左右両翼の誤謬——現美から足る浮いた船上遊戯と理論を無視する旨ら道中——を非してプロレタリア大衆を正しく閉争の道へ導く事、台等の労働者教育の目的である。

三、一般社会に於ける教育は、凡て資本主義制度擁護の爲に教育であつて、それが猶ゆる「民衆教育」なる段面を被る場合に於ても、欺瞞的色彩を以てプロレタリアの階級意識を鈍らせることを全目的として居る。この点に於ては、たゞに

教育のみならず、宗教、文學、藝術、スポーツ、凡て然りである。吾等の教育はかゝるブルジョアの欺瞞を暴露し、支配階級の精神的抑圧と支配からプロレタリア大衆を完全に解放することを以て、更に一つの目標とする。

### 三、教育の方面

上述の目標に應じて吾等が教育の方面は分れる。

一、理論の把握方面にあつては

イ、一般的原则（例へば階級閉争理論）の把握

ロ、過去及現在に於ける運動の批判

ハ、特殊的基本智識（例へば産業合理化、世界恐慌）の獲得

ニ、歴史的智識の獲得

三、實際戰鬥智識の獲得方面に於ては左の如きものを主要項とする

イ、組織に関する實際智識

ロ、宣傳煽動方法並にデモの指導方法

ハ、ストライキ戰術

ニ、合法運動と非合法運動との區別

ホ、及勤團體との閉争方法